

設計課題 「地域住民が交流できるカフェを併設する二世帯住宅〔鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建て〕」

1. 設計条件

ある地方都市において、近隣の地域住民が集い、サークル活動や趣味の教室を通じて交流ができるカフェを併設した二世帯住宅を計画する。

計画に当たっては、次の①～④に特に留意する。

- ① カフェの客用出入口への主たるアプローチ(カフェの従業員用アプローチも兼ねる)は、住宅用玄関へのアプローチと分離して計画する。
- ② 喫茶スペースの一部(厨房等、他の室を含んでもよい)は、天井が高く、明るく開放的な空間となるようにする。
- ③ 喫茶スペースに隣接して「多目的ルーム」を設け、地域住民の様々な活動に利用できるようにする。利用時は、可動間仕切で仕切れるようにする。
- ④ 建築物の耐震性を確保する。

(1) 敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は、下図のとおりである。
- イ. 近隣商業地域内にあり、準防火地域に指定されている。
- ウ. 建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は300%である。
- エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。
- オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

- ア. 鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。
- イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。
- ウ. 建築物の外壁面及び柱面は隣地境界線から500mm以上離すものとする。
- エ. 塔屋(ペントハウス)は設けないものとする。

(3) 延べ面積

- ア. 必ず「230㎡以上、300㎡以下」とする。
- イ. 床面積については、屋内自動車車庫の部分は算入し、ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、カフェテラス、駐輪スペース等は算入しないものとする。また、エレベーターシャフトについては、床面積に算入しないものとする。

(4) 人員構成等

- ア. 親世帯：夫婦(60歳代)
- イ. 子世帯：夫婦(30歳代)、子供(女子小学生)
- ウ. カフェは、住宅の住人以外の従業員2名で運営する。

(5) 要求室等

下表の全ての室等は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	部門	室名等	特記事項	床面積	
1階	カフェ部分	喫茶スペース	ア. テーブル席(計10席以上)及びカウンター席(計4席以上)を設ける。 イ. 天井の最高高さは5m以上とする。 ウ. 喫茶スペースまたは厨房に、レジスターを設ける。	適宜	
		厨房			
		パントリー	・カフェで使う食品を保管する。		
		多目的ルーム	ア. 8人が座ることができる大テーブルを1つ設ける。 イ. 収納、可動間仕切を設ける。	12㎡以上(収納を除く)	
	住宅部分	洗面所	・コーナーでもよい。	適宜	
		多目的便所	ア. 広さは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。 イ. 出入口は引戸とし、幅の内法は、800mm以上とする。		
2階	住宅部分(親世帯)	玄関ホール	ア. 親世帯と子世帯の共用とする。 イ. 下足入れを設ける。 ウ. 住宅用エレベーター及び階段の使用に当たっては、履物を履き替えるものとする。	適宜	
		屋内自動車車庫	ア. 同一棟内に設ける。 イ. 2台分(自家用)の駐車スペースを確保できるようにする。 ウ. 広さは、心々幅6m×奥行き5.5m以上とする。 エ. 自動車の出入口にシャッターを設ける。 オ. 屋内で直接行き来できるようにする。		33㎡以上
	住宅部分(親世帯)	親夫婦室	ア. 洋室とし、ベッド(計2台)を設ける。 イ. ウォークインクローゼット(4㎡以上)を設ける。	適宜	
		食事室・台所	ア. 1室にまとめる。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計2席)を設ける。		
		洗面脱衣室(A) 浴室(A) 便所(A) 納戸(A)	・広さは、心々幅1,500mm以上とする。		3㎡以上
3階	住宅部分(子世帯)	居間	ア. 1室または2室にまとめてもよい。 イ. 食事室には、テーブル及び椅子(計6席以上)を設ける。 ウ. 居間には、家族が歓談できるようにソファ(計6席以上)を設ける。 エ. パソコンコーナーを設ける。	適宜	
		食事室			
		台所			
	住宅部分(子世帯)	夫婦室	ア. 洋室とし、ベッド(計2台)を設ける。 イ. ウォークインクローゼット(4㎡以上)を設ける。	適宜	
		子ども室	・洋室とし、ベッド、机、収納を設ける。		
		洗面脱衣室(B) 浴室(B) 便所(B) 納戸(B)			3㎡以上
(注1) 屋内自動車車庫と住宅部分との間は、両部分を行き来するための防火戸で区画する。また、住宅部分の竪穴部分(階段、エレベーターシャフト及び吹抜け)についての防火区画は、考慮しなくてよい。					
(注2) 店舗(カフェ)部分においては、全て下足とする。					

(6) エレベーター

- ・建築物内に、必ず住宅用エレベーター1基を設ける。
- ・エレベーターシャフトは、心々2,000mm×2,000mm以上とする。
- ・駆動装置は、エレベーターシャフト内に納まるものとし、機械室は設けなくてよい。
- ・出入口の幅の内法は、800mm以上とする。

(7) 屋外施設

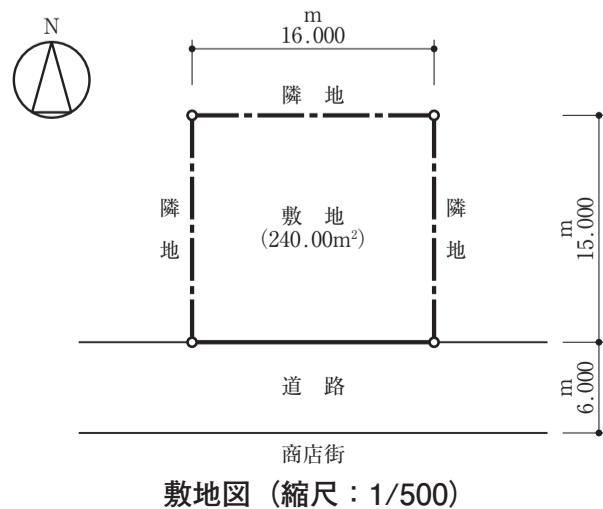
屋外に下表のものを計画する。

カフェテラス	ア. 8㎡以上とする。 イ. テーブル及び椅子(計6席以上)を設ける。
屋外スロープ	・カフェ部分のアプローチにおいて高低差が生じる場合は、屋外スロープ(勾配は1/15以下)を設ける。
駐輪スペース	・カフェ用自転車6台、住宅用自転車2台を設ける。
(注) カフェ用の駐車スペースは近隣にある駐車場を利用するものとし、敷地内に計画しないものとする。	

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mm(部分詳細図にあっては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてよいものとする。

要求図書()内は縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図(1/100)	ア. 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図には、次のものを記入する。 ・建築物の主要な寸法 ・室名等 ・断面図の切断位置及び方向
(2) 2階平面図(1/100)	イ. 1階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 ・敷地境界線と建築物との距離 ・道路から建築物へのアプローチ、屋外スロープ(高低差が生じる場合)、駐輪スペース、門、塀、植栽等 ・道路から敷地及び建築物への出入口には、▲印を付ける。 ・住宅部分の玄関ホール…下足入れ ・喫茶スペース…カウンター、テーブル、椅子、レジスター ・厨房…厨房設備機器(流し台・調理台・コンロ台、冷蔵庫等)、手洗い器 ・多目的ルーム…テーブル、椅子、可動間仕切(破線にて明記する。) ・洗面所…洗面台 ・多目的便所…洋式便器、手摺、手洗い器 ・屋内自動車車庫…シャッター(一点鎖線にて明記する。) ・カフェテラス…テーブル、椅子
(3) 3階平面図(1/100)	ウ. 2階平面図には、次のものを記入する。 ・1階の屋根伏図(1階の屋根がある場合) ・食事室・台所…テーブル、椅子、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等) ・親夫婦室…ベッド ・洗面脱衣室(A)…洗面台、洗濯機 ・浴室(A)…浴槽 ・便所(A)…洋式便器、手洗い器 エ. 3階平面図には、次のものを記入する。 ・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向 ・2階の屋根伏図(2階の屋根がある場合) ・居間・食事室・台所…テーブル、椅子、ソファ、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等) ・夫婦室…ベッド ・子ども室…ベッド、机 ・洗面脱衣室(B)…洗面台、洗濯機 ・浴室(B)…浴槽 ・便所(B)…洋式便器、手洗い器
(4) 立面図(1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。
(5) 断面図(1/100)	ア. 切断位置は、1階の喫茶スペース及び2階・3階を含む部分とする。また、少なくとも1階・2階・3階のいずれかの開口部を含むものとする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のものとし、構造部材(梁、スラブ)を記入する(地中梁、基礎等は記入しなくてよい)。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名等を記入する。 エ. 見え掛りの開口部、階段等(室の対向面に見えるものは記入しなくてよい)。
(6) 部分詳細図(1/20)	ア. 切断位置は、外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、3階床大梁の部分(2階の天井仕上面から下方600mm以上及び3階の床仕上面からの高さ600mm以上)とし、外壁の柱心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(3階床大梁、床スラブ、外壁)の名称・断面寸法を記入する。 オ. 外気に接する部分の断熱措置を記入する。 カ. 主要な部位(外壁、内壁、2階天井及び3階床)の仕上材料名を記入する。
(7) 面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(8) 主要構造部材表	ア. 主要な1階の柱並びに2階床大梁及び3階床大梁の断面寸法を記入する。 イ. 主要な外壁並びに2階床スラブ及び3階床スラブの厚さを記入する。
(9) 計画の要点等	・建築物及び敷地の計画に関する次の①～③について、具体的に記述する。 ① 道路から建築物へのアプローチ・ゾーニングについて、工夫した点 ② カフェ部分について、工夫した点 ③ 住宅部分の計画について、工夫した点



敷地図 (縮尺: 1/500)